

コロナ危機から命・くらし守る市政に

日本共産党

高梨としひろ

磐田市議会議員



みなさんの願いを市政に届ける 6つの提案

国政では、菅首相の日本学術会議への違憲・違法な人事の介入、安倍晋三前首相の「桜を見る会前夜祭」の虚偽答弁が大問題となっています。新型コロナ危機のもと「自助」＝「自己責任」を押し付け、「公助」＝「政治の責任」を放棄する政治姿勢に、国民の批判が高まっています。

コロナ危機で多くの方が不安な毎日を過ごしています。「先が見えない」「収入が途絶える」と悲痛な声が寄せられています。みなさんの切実な願いや思いを、日本共産党は市政にも、国政にもまっすぐ届けます。



① 新型コロナ感染拡大を止める

社会活動を再開していくには、市民が安心して受けられるPCR検査センターを拡充し、本人の希望でだれもがPCR検査を何回でも受けられるよう求めています。

また、市立磐田総合病院をはじめとした地域医療機関の支援に努めます。

④ 学校給食の無償化

世帯収入が伸び悩む一方、教育費は増加傾向です。保護者の経済負担を減らし、子育て支援策として学校給食の無償化の実現をめざします。

② 中小企業や店舗のコロナ対策に助成を

中小企業や事業者に対し、空調、トイレなどコロナ感染防止対策にかかった経費を助成し、営業を支えています。

コロナ収束が長引けば、廃業に追いこまれる業者が増え、雇用危機におちいります。家賃補助や消費税減税など事業と雇用への支援を求めています。

⑤ 公共交通の充実に

市内の路線バスが次々と廃止、減便される中で利用者は困っています。高齢化により免許返納が進むなか、市のコミュニティバスの運行、デマンド型乗合タクシーの改善・拡充を求めています。また、JR御厨駅のバス路線の乗り入れの実現に努めます。

③ 高すぎる国保税の引き下げ

「国保税は高すぎて払うのが大変、なんとかしてほしい」という切実な声があります。国と県に支援強化を求めるとともに、市独自で「1世帯1万円」の引き下げを提案します。

⑥ 浜岡原発は止めたまま廃炉に

東海地震の震源域の真上に建つ浜岡原発は、世界一危険な原発です。再稼働を許さず、廃炉を求めます。自然エネルギーに転換し、即時原発ゼロをめざします。

しっかり発言、しっかり報告

◎市民の願いを届け、実現するために、毎回の市議会ですべて発言（代表・一般質問）してきました。

◎身近な相談相手として、数多くの生活相談にとりくんできました。

◎毎週発行の「いわた民報」で議会報告。地域での懇談会を開き、市政へのご意見、ご要望を伺っています。

◎毎週定例の早朝JR磐田駅頭宣伝を、22年間行っています。市政と議会、国の政治の動きを報告しています。

プロフィール

□1954年 磐田市中泉に生まれる。（66歳）
磐田市立第一中学校、磐田南高等学校、関西大学経済学部を卒業。

■現在、磐田市議会議員（4期目）総務委員会委員、広報広聴委員会委員、磐田生活と健康を守る会顧問、「浜岡原発はいらない磐田の会」世話人、日本共産党磐田市委員会委員長。

■住所：〒438-0077 磐田市国府台（京見塚）648-1
TEL・FAX 0538-32-2319

みなさんと力をあわせ実現できました

高齢者の補聴器購入費用に市の助成

市議会への請願署名など多くの市民のみなさんの力が市政を動かし、市の助成制度が実現できました。市議会では党市議団が代表・一般質問などで、くり返し助成制度を求めてきました。

子ども医療費 中学卒業まで完全無料化

日本共産党市議団は市議会の一般質問などで、ねばり強く取り上げてきました。また、「新日本婦人の会」のみなさんが中心になって取り組んだ請願署名などが大きな力となり、市政を動かし実現しました。

財源の有効活用を

市民要望実現などに自由に使える財政調整基金（貯金）が、令和2年度9月現在で約72億円あります。新型コロナ対策、検査の拡充をはじめ、市民の命・くらし・営業を守ることを優先して活用すべきです。

いわた民報

2021年 1・2月号外 日本共産党磐田市委員会の見解を發表します。ご意見・ご感想をお寄せください。

発行：日本共産党磐田市委員会 磐田市見付（加茂川通り）6023-1 〈電話〉0538-35-1013 〈FAX〉0538-35-2811

市政をチェックし、市民要望実現の先頭に

日本共産党 に期待します

困ったときの相談相手は 「日本共産党」です

私は「生活と健康を守る会」で市民のみなさんの困りごとと一緒に考えています。共産党の議員さんには、いつも困っている人の立場になって活動してくれる「私達の代表」だと思って、相談しています。

コロナ禍の中で相談事も深刻です。自助努力では対応できません。市民の立場に立ってくれる共産党の議員さんにはこれからも、もっと働いてほしいです。

神崎 伸子 (大立野在住)



相談者に寄り添って対応する党市議団
(左：高梨としひろ議員、右：ねづ康広議員)

補聴器助成制度の実現に尽力

昨年4月から高齢者の補聴器購入に対する1人3万円の助成制度がスタートしました。全国的にも注目されています。

「住みよい磐田をつくる市民連絡会」と「磐田市老人クラブ連合会」が市議会への請願署名に取り組みました。合わせて日本共産党市議団が市議会でねばり強くとりあげてきました。行動力があり、実績を積み重ねてきた党市議団のさらなる活躍を期待します。

元磐田市議会議員 野澤 正利 (城之崎在住)

日本共産党は、
市民と野党の連合政権をめざします



高田眞治副市長(中央)に予算要望書を手渡し、懇談する党市議団(懇談時にはマスク着用)

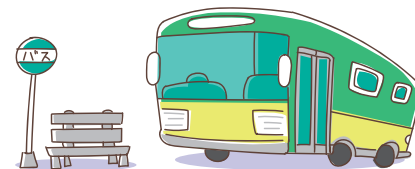
① 子どもや地域も困る小中一体校

ながふじ学府(豊田中学校区)の小中一体校に続き、向陽学府(岩田小、大藤小、向笠小、向陽中)小中一体校について「新たな学校づくり検討委員会」が開かれています。こうした中、新型コロナ禍のもと、地域の小規模校を残してほしいという声が広がっています。地域に住民が暮し続け、若者世代の定住や結婚、子育てを推進していくには、各地域に学校や保育園などの公共施設が不可欠です。

学校統廃合によって、学校を中心に築かれてきた文化や伝統、ネットワークはなくなります。いったんなくなったものは取り戻すことは困難です。磐田市の小中一体校構想は、学校統廃合をめざすものであり、見直しすべきです。

② バス路線廃止問題

路線バスは、通勤・通学・買い物など日常生活に欠かせません。城之崎線(東新町系統)バス路線の廃止問題で地域住民が遠鉄バス存続署名3526筆を市長に提出しましたが、廃止されました。ますます増えていく高齢者にとって路線バスの廃止は本当に困ります。磐田市は路線バス廃止の代わりにデマンド型乗合タクシーの利用を勧めていますが、毎日の通勤・通学などには適しません。路線バス空白地域には市独自のコミュニティバスの運行など、公共交通機関の整備が必要です。市は真剣に対応すべきです。



日本共産党磐田市議団は、市民にとって良いことは賛成し、よりよいものにするために積極的に提案してきました。問題のある議案、施策については批判し、是正を迫るという市民第一の立場で活動しています。

渡部修市長のこれまでの市政運営は、高齢者の補聴器購入に市独自の助成制度の創設、小中学校の普通教室へのエアコンの設置、広島平和記念式典への小中学校生徒の派遣など、評価できるものもあります。一方で遠鉄バス城之崎線・東新町系統の廃止の対応や、コロナ禍で学校統廃合をすすめる小中一体校構想などの問題があり、市民に寄り添った姿勢が見られません。日本共産党は、市民に開かれた市政、住民が主人公の市政の実現に全力を尽くします。

③ 子育て支援センター廃止問題

4つの子育て支援センターの廃止問題がありました。背景には、事前に利用者の声を聴くことなどが不十分な点がありました。党市議団は市議会の一般質問や予算要望の中で、存続を求め市長の政治姿勢をただしてきました。その後、市の利用実態調査や利用者との意見交換を通じて存続が決まりました。

④ 入札妨害事件

2019年2月1日、前副市長及び建設部都市整備課長(当時)が「(仮称)子ども図書館改修工事」にかかる公契約関係競売入札妨害の容疑で逮捕されました。入札妨害事件は、市政に対する市民の信頼を著しく損ない、大きな憤り呼びました。市議会の中で市長の姿勢をただし、不祥事を発生させない組織づくりを求めてきました。

これからも不正のない市政実現のため、がんばります。

市民のみなさんの声を力に実現できました

市民のみなさんの署名運動、請願・陳情や市議会の代表・一般質問で取り上げた市民要望が実現できました。主なものを紹介します。

- 高齢者の補聴器購入に市独自の助成制度を実現
- 医療・福祉・保育・学校などに勤務する職員へのPCR検査の実施
- 中学卒業まで子ども医療費完全無料化
- 小中学校の普通教室へのエアコンの設置
- 75歳以上の人間ドックの助成
- 高齢者の自動車急発進抑制装置への補助
- JR御厨新駅にエスカレーターが1月に完成
- 核兵器廃絶平和都市宣言に基づく平和事業の推進



「しんぶん赤旗」をお読みください。日刊紙 月3,497円 日曜版 月930円

市民アンケートを配布しています。ご協力をお願いします。